

デンマーク大使館様



# 日本クリーンファームにおける アニマルウェルフェア推進の取り組み紹介

2023年10月5日

日本クリーンファーム株式会社

環境品質保証室長 藤村達也



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030

# 日本クリーンファームの概要



本社所在地・・・青森県上北郡おいらせ町松原1-73-1020

資本金・・・13億100万円

従業員数・・・634名（男性527名、女性107名）

農場数・・・直営24農場  
（知床4、道南11、東北5、九州4）

母豚数・・・26,000頭  
知床事業所・・・3,800頭  
道南事業所・・・9,700頭  
東北事業所・・・8,600頭  
九州事業所・・・3,900頭

年間出荷頭数・・・約62万頭

沿革：昭和58年創業  
平成6年に日本クリーンファームとして  
1社4事業所に統合  
平成18年にインターファームに社名に変更  
令和5年に日本クリーンファームに社名変更

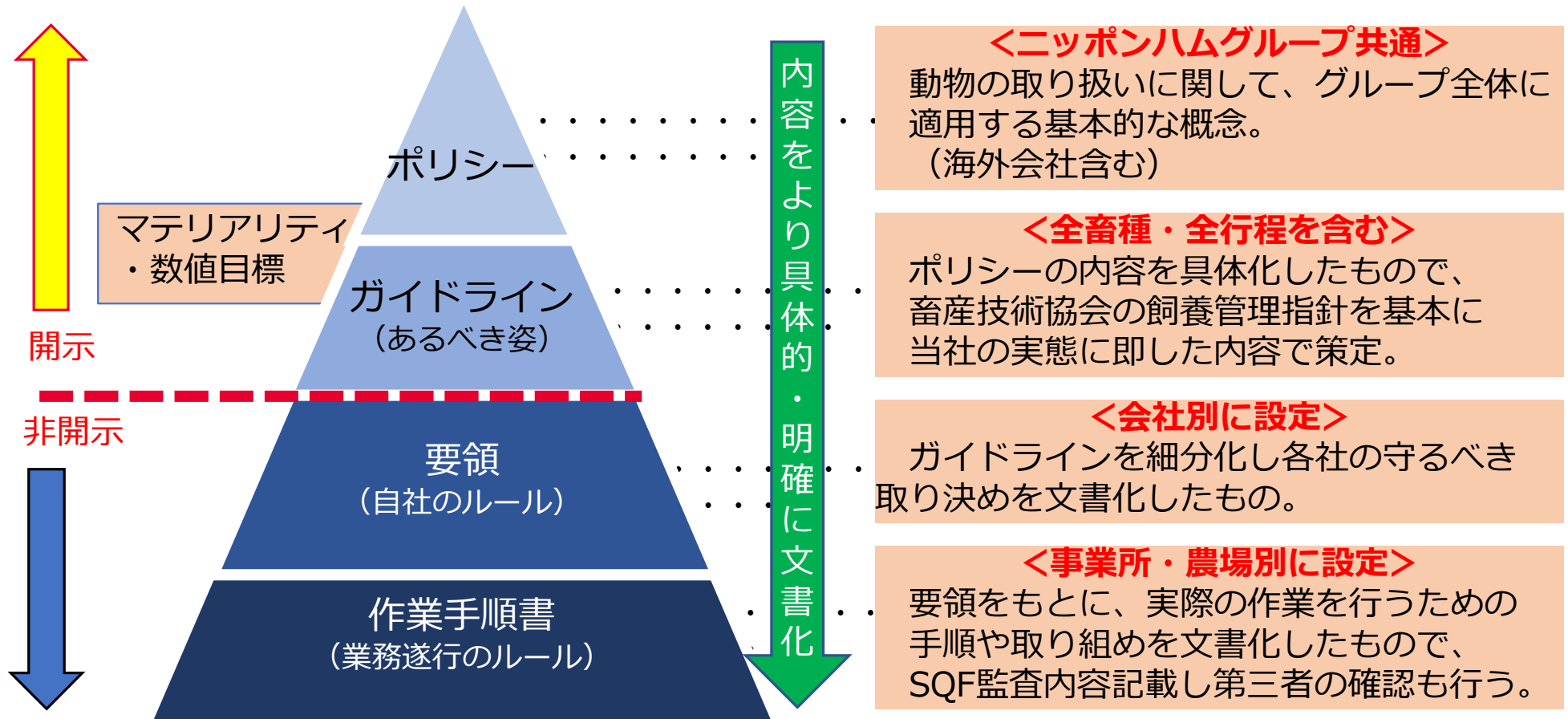


当社のブランド群

# 日本クリーンファームの事業所所在地



# ニッポンハムグループのAW概念図



# アニマルウェルフェアポリシー



ニッポンハムグループは生命の恵みを大切に考え、家畜におけるアニマルウェルフェアに配慮した事業を行うことが重要な課題であると認識しています。

アニマルウェルフェアとは、「動物の生活とその死に関わる環境と関連する動物の身体的・心的状態」と、世界の動物衛生の向上を目的とする国際獣疫事務局（OIE）において定義されています。  
当社グループはその考え方に賛同し、基本原則の「5つの自由」を推進します。

## 5つの自由

**飢え、渇き及び栄養不良からの自由**

**恐怖及び苦悩からの自由**

**物理的、熱の不快さからの自由**

**苦痛、傷害及び疾病からの自由**

**正常な行動様式を発現する自由**

あわせて、家畜を快適な環境下で飼養し、ストレスや疾病を減らすことは、結果として安全な畜産物の生産にもつながることから、私たちはビジネスパートナーと協働し、この考え方を踏まえた家畜の飼養管理、生産体制の改善や継続した技術革新などを進めていきます。

また、情報開示、ステークホルダーとの対話を通してアニマルウェルフェアの向上に努めます。

ニッポンハムグループは、サプライチェーンにおける環境や人権、アニマルウェルフェアなどの社会側面を配慮しつつ、多様なたんばく質への取り組みを推進し持続可能な社会に貢献していきます。

# アニマルウェルフェアガイドライン

## 基本原則

- ・適用範囲は、資本を過半数保有する国内外のグループ会社とすること
- ・定期的な確認を行い、不適切な事象が確認された場合は改善すること
- ・業務に携わる者には、アニマルウェルフェアポリシーの理解や、アニマルウェルフェアを推進するための知識、業務遂行に必要な技術などの教育を実施すること
- ・各国、各地域における法令を遵守し、多様性に配慮すること

### 生産

- ・基本操作
- ・栄養
- ・環境



グループ各社の事業形態に合わせて、より具体的に取り決め内容を文書化（管理要領）

日本クリーンファームアニマルウェルフェア管理要領  
ホワイトファームアニマルウェルフェア管理要領

### 輸送

- ・基本操作
- ・計画
- ・管理

### 処理

- ・基本操作
- ・移動
- ・と畜



グループ各社の事業形態に合わせて、より具体的に取り決め内容を文書化（管理要領）

日本フードパッカーアニマルウェルフェア管理要領

2030年に向けた中長期目標の達成に向けて、当社を取り巻く社会課題の見直しを行い、「5つのマテリアリティ（重要課題）」を特定

マテリアリティ「たんぱく質の安定調達・供給」の中の具体的な施策・指標にアニマルウェルフェアに配慮した取り組みの推進を設定

## アニマルウェルフェアに配慮した取り組みの推進

- ・ 全農場の妊娠ストール廃止（豚）  
（2030年度末までに国内全農場にて完了※）
- ・ 全処理場内の係留所へ飲水設備の設置（牛・豚）  
（2023年度末までに国内全拠点に設置完了※）
- ・ 全農場・処理場への環境品質カメラの設置  
（2023年度末までに国内全拠点に設置完了※）

※ニッポンハムグループが資本を過半数保有する企業が対象



### ○妊娠フリーストールへの対応

- 2013年 長万部あやめ農場に妊娠フリーストール導入、飼育面積をEU基準に
- 2017年 長万部ちらい農場に妊娠フリーストール導入、飼育面積をEU基準に
- 2021年1月 日本ハムIR Dayで畑社長が「北海道の2農場にて妊娠時のフリーストール化を実施。今後新規農場については、同様の方向で進める。」と宣言

### ○グループ全体のポリシー・ガイドライン制定

- 2021年11月 グループのアニマルウェルフェアポリシー制定・公表
- 2022年1月 ガイドライン制定・公表  
2030年に向けた5つのマテリアリティの中の「たんぱく質の安定調達・供給」の施策・指針に「アニマルウェルフェアに配慮した取り組みの推進」を公表
- 2022年4月 ニッポンハムグループ行動基準ハンドブックに「アニマルウェルフェア」掲載  
(グループ全従業員への浸透が目的)





## ○日本クリーンファームの取り組み

2021年11月～

2021年11月のグループアニマルウェルフェアポリシー発表を受けて、

- 動物の取り扱い方法について明文化（管理要領作成）
- 農場従業員へアニマルウェルフェアおよび管理要領についての講習会実施
- 従業員向けの相談窓口の開設・各農場にポスター掲示
- 管理要領に基づいて農場ごとの作業手順書を改訂  
（具体的な取り組み）
  - ・具体的な取り扱い方法の統一
  - ・安楽死方法の統一
  - ・痛みを伴う処置方法の統一
  - ・出荷前係留所への飲水設備完備
  - ・環境品質カメラの設置に向けた準備
- ビジネスパートナー（輸送業者・預託農場）へ、ニッポンハムグループのアニマルウェルフェアポリシーおよびガイドラインを説明
- 社外との情報交換や発信
  - ・快適性に配慮した豚の飼養管理委員会（畜産技術協会）
  - ・アニマルウェルフェア円卓会議（信州大）
- 研究推進・・徳島大、信州大など